

減感作療法

希釈した原因抗原(スギ花粉)の皮下注射による治療

長所:

根本治療になる可能性がある

薬物使用量を減らすことが可能である

多くが成人に移行する小児スギ花粉症にも有効

短所:

患者負担が大きい

・2年以上の治療期間と計50回以上の通院必要

・稀ながら重篤な副作用(200万回の注射に1人)

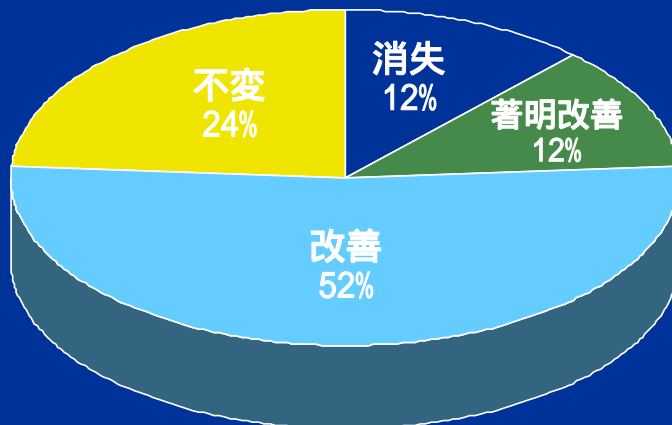
方法:

希釈した原因抗原エキスを皮下注射 50%ずつ増量

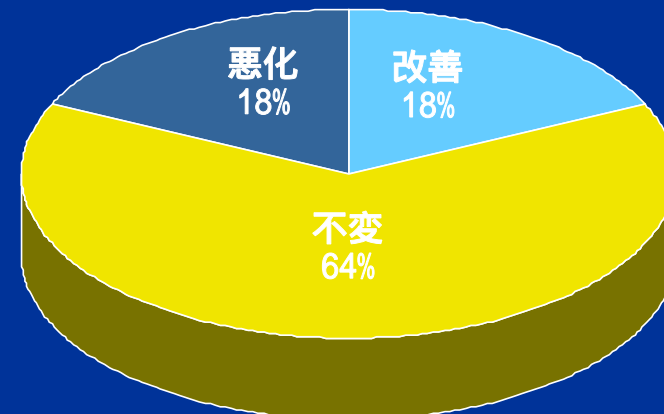


原因抗原の検査—皮内反応

小児スギ花粉症で2年以上減感作療法
15~25年後の症状(n=17)



小児スギ花粉症で薬物治療
あるいは減感作療法1年未満
15~25年後の症状(n=22)



舌下減感作療法^①の導入

舌裏面のエキスを含ませたパン小片を2分間保持

- ・自宅で可能(頻回な通院不要)
- ・欧州では承認
- ・副作用減少

1年前より成人スギ花粉症患者で盲検試験開始
100名以上参加
本年度より小児へも拡大



舌下減感作療法

【今後の課題】

- (1) 有効性の確認
- (2) 副作用の調査
- (3) 作用機序の解明
(スギ花粉特異的T細胞、調節性T細胞の検討)
- (4) 保険適応を目指す